

7月13日

知事選で問われているのは――

2つの争点

- ① 安倍内閣の暴走に“待った”をかける
- ② 県民のくらし第一にきりかえる



●プロフィール● 1959年、近江八幡市(旧安土町)生まれ。滋賀大学教育学部卒。近江八幡市の小・中学校教師をへて、党専従に。

坪田いくおさんで政治を切りかえましょう

国の悪政と対決

くらし第一の県政へ

- 消費増税、原発再稼働、教育への政治の介入、TPP参加にキッパリ反対します
- 9条をまもり、「戦争する国づくり」を許しません
- 県内の「ブラック企業」調査を行うなど、若者の命と雇用を守ります
- 子どもの医療費を中学卒業まで無料にします
- 住宅・商店街リフォーム助成制度をつくります
- 特別養護老人ホームや保育所を増やし、待機者解消、地域経済にも貢献します

県政の重大問題

新幹線新駅

▼自公陣営ももともと多大な地元負担を押しつける新駅の推進派
中止された栗東新駅の時代から、新幹線新駅建設推進の立場です。

▼前民主議員の人々「再挑戦する」と新駅建設を表明
記者会見で、8年前の知事選について「米原・京都間の駅の必要性まで否定された選挙ではなかった」とのべ、「再挑戦していく」と新駅建設を表明。

原発再稼働

▼自公陣営も安倍内閣の立場そのまま再稼働推進
経産省官僚の人は、「安全基準をクリアした原発は使わざるをえない」と、再稼働を容認。

▼前民主議員の人々「再稼働に反対せず」
「再稼働すべき」と公約(衆院選)、国会で原発輸出に賛成、今も「隣接県の同意権を」というだけです。

“三つどもえ”に見えますが

自公陣営も前民主議員も
同じ政治の流れです

消費税も憲法も…ちがいがありません

消費税

8%、10%の増税を決めたのは自民・公明・民主の「3党合意」。3党とも“増税勢力”です。

憲法

「戦争をする国」につくりかえようと狙う安倍内閣。「改憲手続き法」の改定にも自民も公明も民主も賛成。

日本共産党

週刊 滋賀民報

2014年5・6月号外

発行所(株)滋賀民報社 〒520-0044 大津市京町3丁目3-14
TEL 077-525-3400/FAX 077-525-3485
1972(昭和47)年5月30日第3種郵便物認可

●日本共産党滋賀県委員会が政策を発表しましたのでお知らせします。

政治の真実がわかり、未来への希望と勇気がわく

「しんぶん赤旗」「滋賀民報」をお読みください

日刊●月3497円
日曜版●月823円

●月350円

お申し込みは☎077-525-3400まで

知事選

住民本位の県政実現のため
日本共産党は党派をこえた
共同でたたかいます

- 県政を動かすのは、県民の世論と運動です。日本共産党は、「国にはつきりものをいう知事」「暮らし第一の県政を」で一致するすべての県民団体と党派をこえて力をあわせ、県政の転換をめざします。
- 日本共産党は国政でも地方政治でも、一党だけで“政権”をつくることをめざしていません。県民多数の声にこたえて仕事をするのが県知事です。日本共産党は「住民の利益第一」を基準に県政を動かします。



これまでの県政

自民・公明・民主が推進

負担増・福祉カット次々

65歳～69歳の医療費負担を2倍 (8月から)

⇒ 県独自の福祉医療費助成制度を改悪。

子育て、老人クラブなどの予算カット (今年度)

- 母子保健対策費3,481万円カット
- ひとり親家庭福祉対策費9,125万円カット
- 老人クラブ活動費142万円カット
- 水草刈り取り事業など1,782万円カット

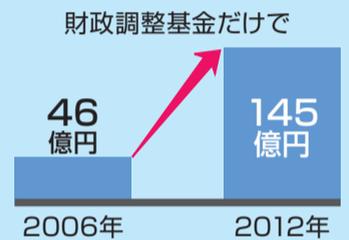
福祉・文化・スポーツ施設を廃止・休止

- きぬがさ荘廃止 (老人ホーム、2012年)
- 朽木いきものふれあいの里廃止 (2014年)
- 「奥びわスポーツの森」プール休止 (2012年)



県の“貯蓄”は300億円

県が自由に使える「財政調整基金」だけでも、2006年度から、2012年度の6年間で3倍に。



大企業には132億円の補助金

「企業立地助成金」で大盤振る舞い

- 15億円⇒京セラ
 - 10億5942万円⇒村田製作所
- など34企業に132億円を交付。

県政を変えれば、暮らし・福祉はよくなります

県議選

県民の声を届け、県政をチェックする
県議会が本来の役割をとりもどします

- いまの県議会には、日本共産党の議員がないために、チェック機能が働かず、知事の提案に“なんでも賛成”。くらしや子育ての請願を県民が出そうと思っても、紹介議員がおらず、県民の願いが届きません。県民と県政を結ぶ“架け橋”をとりもどします。



大津市区



前県議
ふしきみちよ



大津市議
きのせあきこ

長浜市区



長浜市議
杉本としたか